



ラスカー君

カラス カン ナ ガワ 鳥・神流川だより



カナちゃん

国土交通省 高崎河川国道事務所

第34号

H17.11.30

「平成17年度 水生生物による水質の簡易調査」

水生生物調査とは、比較的簡単に見つけやすい川底に棲んでいる水生生物を採取し、生物の種類を調べることで、川の汚れ具合を判断するものです。

この調査は、高価な機材等を必要としないことから、誰でも手軽に水質を判断することが出来ます。

また、調査を通じて身近な河川に親しむ事ことで、環境問題に関心を持っていただく機会となるため、国土交通省及び環境省では、小・中・高校生や一般の方々のご協力のもと、毎年全国の一級河川の直轄区間において実施しているものです。



水生生物調査調査実施箇所位置図

高崎河川国道事務所管内においても、毎年地域の小・中学生の皆さんにご協力をしていただき調査を実施しています。今年は、7 / 23から9 / 29にかけて次のような行程で実施しました。

	河川名	調査地点名	調査日	団体名称	のべ参加人数				
					小学生	中学生	一そ 般の 他	合計	職員等
①	烏川	高松	7/23	高崎市中央公民館	16		2	18	7
②	烏川	岩鼻	9/28	高崎河川国道事務所				0	4
③	烏川	岩倉橋	9/28	高崎河川国道事務所				0	4
④	神流川	神流川橋	9/29	高崎河川国道事務所				0	4
⑤	神流川	下戸塚	8/9	藤岡市立北中学校		4	1	5	5
⑥	神流川	藤武橋	8/8	藤岡市立東中学校		4	1	5	6
⑦	神流川	本郷	8/22	藤岡市立美九里東小学校	19		3	20	5
合 計					35	8	7	48	35

＜水生生物調査調査実施表＞

高松(高崎市中央公民館)



下戸塚(藤岡市北中学校)



藤武橋(藤岡市立東中学校)



本郷(藤岡市立美九里東小学校)



	河川名	調査地点名	見つかった 主な指標生物	魚, 水草, 鳥, その他の生物	水質階級	
					H17結果	H16結果
①	烏川	高松	ヒラタドロムシ	稚魚(魚種不明) アメンボ	Ⅱ階級	Ⅳ階級
②	烏川	岩鼻	ヒラタカゲロウ コガタシマトビ ケラ	タニガワカゲロウ ヒゲナガカワトビケ ラ	Ⅱ階級	Ⅱ階級
③	烏川	岩倉橋	コガタシマトビ ケラ ヒラタドロムシ	タニガワカゲロウ ヒゲナガカワトビケ ラ	Ⅱ階級	Ⅱ階級
④	神流川	神流川橋	スジエビ ヒラタドロムシ	シマドジョウ タニガワカゲロウ	Ⅱ階級	Ⅲ階級
⑤	神流川	下戸塚	スジエビ ヒラタドロムシ ヒル	コイ シマドジョウ	Ⅱ階級	Ⅲ階級
⑥	神流川	藤武橋	スジエビ ヒル	シマドジョウ	Ⅱ階級	Ⅱ階級
⑦	神流川	本郷	カワゲラ スジエビ	シマドジョウ カジカ	Ⅰ階級	Ⅰ階級

<調査結果表>

今年の水生生物調査の調査結果は、神流川の本郷地点が“きれいな水(水質階級)”と評価され、その外の地点は、“少しきたない水(水質階級)”と評価されました。昨年までの調査結果とくらべると、烏川の高松地点及び神流川の神流川橋、下戸塚の3地点がきれいな水の方へ評価が変わりました。特に烏川の高松地点では、平成16年度調査では“大変きたない水(水質階級)”だったものが、“少しきたない水(水質階級)”に評価が変わり、水質が改善されている(きれいな水に棲む生物が棲める水になってきている)と評価できます。(ただし、水生生物調査は棲息している生物による判定であるため、川の状態(川底の状態や川の水量)や季節などにも影響されるため一概に水質が改善されているとの判断はできません)

なお、今年度の調査は、調査を予定した日に台風が来て延期になるなど、不測の事態も多い年でした。調査に参加された生徒さんからは「身近な川で、こんなにも生物がいることは知らなかった」などの感想も寄せられ、よい経験になったと思われまます。

川は昔から人々に潤いと、遊び等を提供してくれた大変身近な存在です。川のことをよく知っていれば大いに利用のしがいがあり楽しむことができます。この調査を通じて一人でも多くの方々が川に親しむ機会を持っていただければと思います。

なお、このような調査をぜひやってみたいという方がおられましたら、調査のやり方を詳しく説明した資料がありますので、河川管理課河川環境係までご一報下さい。

「第9回 ダムと川の絵コンテスト」

高崎河川国道事務所と利根川ダム統合管理事務所では、ダムや川の絵を描くことにより、ダムと川が生活に深く関わる社会資本であることを目的に、群馬県内の小学生を対象として「ダムと川の絵コンテスト」を実施しました。(実施期間:H17. 7. 1~9. 9)

このコンテストも今年で9回目を迎え、応募者数も昨年の51校329名を大幅に上回る66校494名の小学生から応募が寄せられました。

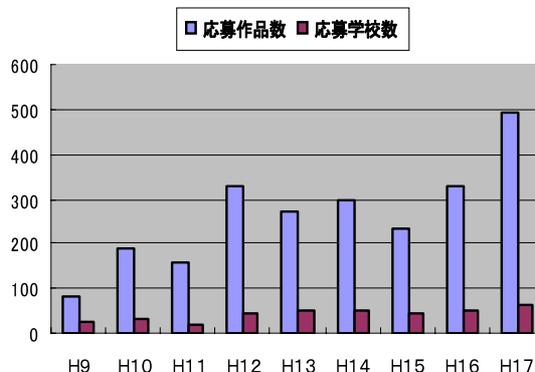
■ 応募総数 494名

■ 応募学校数 66校

【年度別応募内訳】

年度	応募総数	応募学校数
H9	83	24
H10	192	29
H11	155	19
H12	328	43
H13	273	51
H14	297	50
H15	235	47
H16	329	51
H17	494	66

【応募作品数と学校数】



表彰式及び施設見学会を行いました

応募総数494名の中から厳正なる審査を行い、最優秀賞、優秀賞など36点の入賞作品を選定しました。

去る10月22日(土)には、入賞者の表彰式と表彰式終了後に入賞者及びその保護者を対象に施設見学会を実施しています。



高崎市内において表彰式を行いました。



表彰式終了後行われた施設見学会では、みなかみ町の奈良俣ダムなどを見学しました。

最優秀賞作品です。



1年生の部 最優秀賞 星野 太一
『湯檜菅川で魚釣り』
(前橋市立粕川小学校)



2年生の部 最優秀賞 柳沢 菜々穂
『めだかと友だち』
(松井田町立西横野小学校)



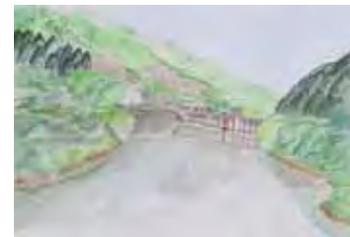
3年生の部 最優秀賞 島村 祐希
『川をのぞくと』
(沼田市立沼田小学校)



4年生の部 最優秀賞 吉田 早恵
『道平川ダム(荒船湖周辺)』
(高崎市立南八幡小学校)



5年生の部 最優秀賞 鎌田 えなみ
『夏の広瀬川』
(伊勢崎市立北第二小学校)



6年生の部 最優秀賞 前原 茉莉
『市民を支える桐生川ダム』
(桐生市立東小学校)

全入賞作品を高崎河川国道事務所HP(<http://www.ktr.mlit.go.jp/takasaki>)でご覧になれます。

入賞作品展示中！！

川と道の情報館において入賞作品を展示しています。平成17年11月1日(火)から29日(火)午前までは、小学1・2・3年生、12月1日(木)から27日(火)までは小学4・5・6年生の入賞作品の展示を行います。

また、利根川ダム資料館でも展示を行っています。展示期間の詳細は、利根川ダム統合管理事務所HP(<http://www.ktr.mlit.go.jp/tonedamu/>)まで。

瑞宝単光章受賞

＝元利根川水系 烏・神流川下仁田雨量観測員 鈴木 フジさん＝

去る11月8日(火)、東京の赤坂プリンスホテルにおいて、勲章伝達式が催され、当事務所の管理する下仁田雨量観測所の元 雨量観測員鈴木フジさん(79歳)が瑞宝単光章を受賞されました。

鈴木さんは、利根川水系 鑄川流域の下仁田雨量観測所の雨量観測員として、昭和46年5月1日から平成15年3月31日までの約32年間にわたり、強い責任感と不屈の精神をもって観測業務に専念されました。

この間に観測されたデータは、烏川・鑄川をはじめ利根川の河川整備計画とりまとめの基礎資料となっており、流域に暮らす人たちの生活を守る河川事業の実施に多大な貢献をもたらしています。

観測業務にご協力して頂いたご家族の皆様共々、長い間大変お疲れさまでした。そして今回の受賞ほんとうにおめでとうございます。



鈴木フジさんご長男の勉さん



下仁田雨量観測所



勲章

観測員による観測業務は平成15年3月31日迄で終了し、それ以降は機器による自動観測を行っています

第7回「21世紀の森 野外音楽祭」開催

- * 平成17年8月28日（日）
- * 群馬県立森林公園 森の広場（沼田市上発地）
- * ゲスト：太田 裕美・伊勢正三・サムシングエルス
他



「森林と水と人間の未来を考える」出発点となった第49回全国植樹祭の成果と感動を後世に伝えると共に、森林や水が人間の存在にとって不可欠であること、そのための森づくりが大切であるということのアピールを目的とした音楽祭。

生憎天候が悪く、地元産直野菜や諸々の出店の売れ行きは今ひとつだったようですが、参加者約4000人が“緑を大事に”との思いを一塊りにして、懐かしい歌を聴きながら素敵な時間を過ごすことが出来ました。

（河川管理課 金澤）

神流川にサケの遡上??

平成17年11月18日に神流川で河川巡視を実施していたところ、何とサケ2匹が遡上しているのが確認できました。体が傷つきながらも懸命に遡上していく姿に感動させられました。無事最後の任務（産卵）を行って、再び約4年後には稚魚達が成長してこの神流川に遡上してくることを期待します。そのためには神流川がもっと綺麗な状態にならなければなりません。



一般的に日本の河川で生まれたサケは孵化し6cm位の大きさに川を下ります。はるか北のベーリング海からアラスカ湾までの大回遊を行い、3～5年間海で過ごした後、初秋から冬にかけて、幼時期を過ごした懐かしい川の臭いをもとに、生まれた川への回遊に移ります。川を遡上して、産卵場所に着くと、メスは尾びれで川底の砂利を掘って産卵床を作り、オスと共に約3,000個の卵を産卵しますが、親魚はそのまま力尽きて死んでしまうとのことです。

（河川管理課 杉本）

高崎出張所 移転のご案内

平素より、河川行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、高崎河川国道事務所 高崎出張所では、国道17号高松立体工事に伴い、下記へ移転することになりました。つきましては、窓口業務を下記の日程で移行しますのご案内申し上げます。
なお、引っ越し中はご迷惑をおかけするかとと思いますがよろしく申し上げます。

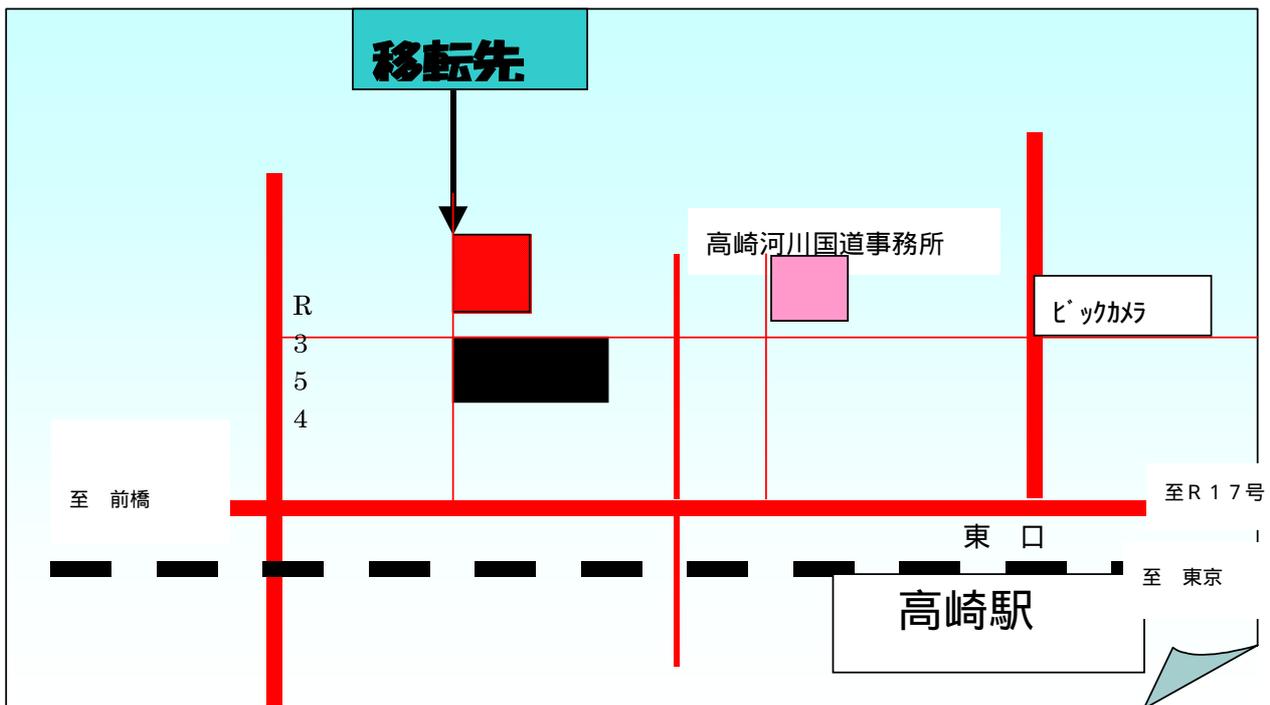
新庁舎での窓口開始日程

日時：平成17年12月22日(木)

住所：〒370-0045 高崎市東町187-10

12月20日～21日にかけて引っ越しを行う予定ですが、窓口業務は通常通り行います。

なお、工事の関係で延期の場合もありますのでご了承願います。



電話番号は変更ありません(027-322-2597)

発行・問い合わせ先
国土交通省 高崎河川国道事務所 河川管理課
〒370-0841 高崎市栄町6-41
TEL 027-345-6041 FAX 027-345-6091